

脚本・絵 きゃくほん え 藤極 ふじきわ 伸太郎 しんたろう

「あつまれ おこめつぶ」



①

小さな小さなこめつぶのお話

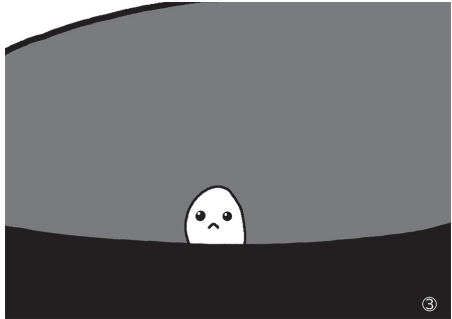
はじまりはじまり！



②

②

おちやわんのなかに残された、
たったひとつぶ、こめつぶひとつ。
もったいないね、もったいない。



③

だけど、こめつぶ気がついた。

だれかがぼくを呼んでいる。

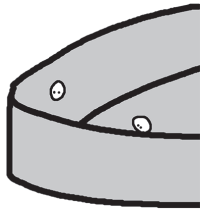
たすけを求める声がある。

たったひとつぶ、おこめつぶ。

いったい、何ができるのか。

だけど行かずにいられない。

こめつぶ一つたすけに行こう！



o

④

「おいしい！そんなにあわててどこへ行く？」
べんとうばこに、のこされた
こめつぶふたつ声かけた。

「きみらも食べ残されたのか。
いまからだれかを助けに行くのだ。
どうだ、きみらも行かないか。」

「いくとも、いくとも、いっしょにまいろう」

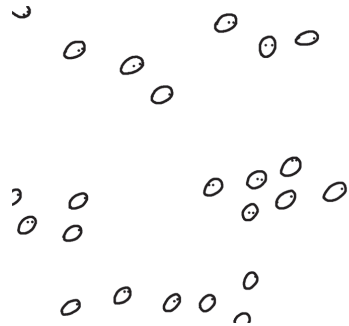


⑤

「おうい！そんなにいそいでどこへ行く？」
しゃもじにくつつきのこされた、
こめつぶみつつ声かけた。

「きみらも食べ残されたのか。
いまからだれかを助けに行くのだ。
どうだ、きみらも行かないか。」

「いきます、いきます、いっしょにまいろう」



⑥

⑥

「おいしい！そんなにいいのでどこへ行く？」

いろんなところで残された、

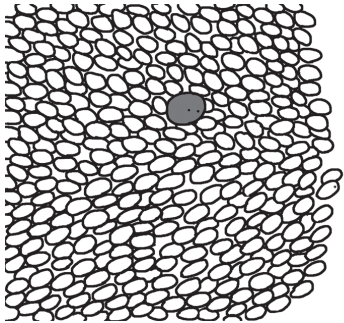
こめつぶたくさん寄ってきた。

「なんてたくさん！おこめつぶ、

食べ残されたおこめつぶ。

誰かがぼくらを呼んでいるのだ。

みんなと一緒にまいろうぞ！」



⑦

⑦

どんどんあつまる、おこめつぶ・・・

食べ残されたおこめつぶ。

おや、まっかなおこめもまざっているぞ。

いやいやあいつは、梅干しだ！



⑧

⑧

よりあつまったおこめつぶ。

こえのところにきてみたら、

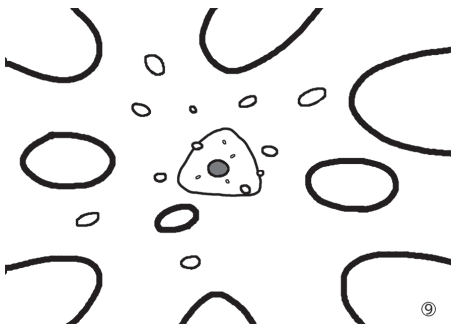
お腹をすかせたうさぎのおやこ

いますぐ何かをたべなけりや、

このまましんでしまいそう。

「よし！^{みな}皆の衆^{しゅう}！いまこそ力をあわせよう！

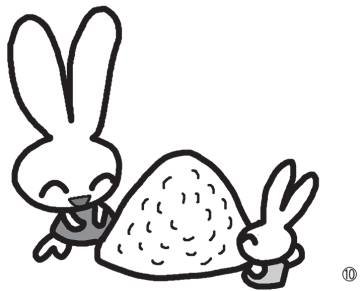
それ！がっただいだ！」



⑨

かけ声とともにこめつぶたちは、
うめぼしのまわりに集まった。

どんどんどんどん、あつまって…



⑩

ひとつぶずつのおこめつぶ、
みんなひとつにあつまって

おおきなおおきな、おにぎりに。

さあ、おなかをすかせたうさぎさん
たくさんたくさん召めし上あがれ。

「おいしそうな、おむすびね。

ひとつぶのこらず、いただきまーす」



⑪

「おいしい、おいしい、おいしいわ。」

「ほんと、おかあさん、おいしいね」

命をつなぐだいじなたべもの。

たったひとつのこめつぶだって

決して残さず食べようぞ！